

CFA 協会ブログ

No.520

2021 年 4 月 9 日

Data Amplified: Why Data, Reporting, and Digitization Matter to Investors

増幅したデータ：データ・財務報告・デジタル化がなぜ投資家にとって重要なのか

モフィニ・シン ([Mohini Singh, ACA](#))

情報は投資判断の血液のように不可欠なものであり、その血液を流し続ける役割をするのが財務報告である以上、投資家は、たとえ技術的なものであっても、財務報告の最新動向に関心を持つべきです。

“garbage in, garbage out（訳注：無意味なデータを入力すると、無意味な結果が出力される）”という言葉を目にしたことがあると思いますが、事業に関するデータを活用することは、単にゴミを出さないようにするだけではありません。最善で絶妙な判断は、最善で絶妙な情報から生まれます。データは信頼性が高く関連性があり、取得や比較が容易である必要があります。したがって、事業の成果をどのように測定・検証・公表し、また分析するかが重要な問題となります。

多くの投資家は、利用するデータ（どのように入手するかは別として）を車と同じように捉えています。使い方や走行中に安全で優れた性能を引き出す方法は知っていても、ボンネットの中で何が起きているかには関心がないのです。世界中で、投資家が利用するデータが企業からデジタル形式で公表されるケースが増えています。これは、直列 6 気筒エンジンからハイブリッド車のエンジンに移行しているようなものです。この移行そのものを理解することで、ドライバーはより多くのことを得ることができます。

4 月 14 日から 16 日にかけて、XBRL International が主催する無料のオンラインイベント [Data Amplified Virtual](#) で、まさにこのことが議論されます。このバーチャル・イベントでは、デジタル化や変わる日本 CFA 協会

りゆく財務報告を取り巻く状況や構造化されたデータ、財務報告基準、その他関連するトピックに関心を持つ人々が集まります。そこでは、規制当局や政府、会計や監査の専門家、ソフトウェアやシステムの開発者などから選ばれた専門家による講演や議論が行われます。投資家の皆様にも、この議論に参加していただくことが重要だと私は考えます。

現在、財務報告を取り巻く大きな環境変化の一つに、ESG（環境・社会・ガバナンス）やその他の非財務リスクとその影響・価値を包含する領域が飛躍的に拡大している点が挙げられます。投資家が必要とする関連性が高く、高品質で、比較可能性の高い財務情報を提供する必要性が高まっているため、関連する基準や報告義務が急速に発展しています。投資意思決定において、ESG や非財務データの重要性が増していることは間違いありませんが、次世代の企業の財務報告がどのように利用され、比較されるのか、本当に必要な情報は何か、規制当局や政策立案者、技術者はどのようにして有用性を確保すべきなのか、といったことを説明できるのは、投資家以外に誰がいるでしょうか。

このイベントでは、監査の未来とデジタル時代の財務報告に対する監査・保証への影響についても検討します。問題点や課題を考え、独立した監査が意思決定の質の向上にどのように貢献できるかを理解する機会となるでしょう。信頼性に関する懸念を理解し、改善するために何ができるのかと考えたことがある方であれば、これはお勧めの議論です。

かなり専門的な話になりますが、財務報告のデジタル化、特に XBRL 基準の近代化は、財務報告データを利用するすべての人に重要な機会をもたらします。例えば、学習曲線が短く平坦になったことで簡単に始められるようになった中で、新たな手法によって情報をより明確に照会できるようになりました。また、XBRL データを他のシステムやプロセスに統合するための明確な道筋ができることで、人工知能・ビッグデータ・リアルタイム分析の活用など、新たな意思決定の仕方が可能となるかもしれません。

データと財務報告に関する議論に参加することは、未来を創造し、有用で適切な情報開示を促進することになることと同時に、利用可能な情報を常に把握し、急速に変化するデジタルの世界で競争優位性を維持することにもつながります。

(翻訳者：篠原 央士、CFA)

英文オリジナル記事はこちら：

<https://blogs.cfainstitute.org/marketintegrity/2021/04/01/data-amplified-why-data-reporting-and-digitalization-matter-to-investors/>

注) 当記事は CFA 協会 (CFA Institute) のブログ記事を日本 CFA 協会が翻訳したものです。日本語版および英語版で内容に相違が生じている場合には、英語版の内容が優先します。記事内容は執筆者の個人的見解であり、投資助言を意図するものではありません。

また、必ずしも CFA 協会または執筆者の雇用者の見方を反映しているわけではありません。